

心のセーフティネット

編集・発行

株式会社保健同人フロンティア
ヒューマン・フロンティア相談室
〒107-0062
港区南青山 1-3-3 青山一丁目タワー4 階
TEL.03-6747-6250(代表)

カウンセリングのご予約はこちらへ

ナヤミ ナシヨ

0120-783-744

受付日時:月曜～金曜 10:00～20:00

(祝日除く) 土曜 10:00～18:00

E-mail :
sodan@humanfrontier.co.jp

※受信後、2営業日以内にお返事いたします。

©2016, 2024 HOKENDOHJIN-FRONTIER Inc.



LINEからもカウンセリング
予約ができます。

(※予約受付専用。直接相談は出来ません)



LINE アプリの「友だち追加」→「QR
コード」から上記の QR コードを撮影し
ご登録ください。もしくは「友だち追
加」→「検索」から「@hfsodan」を入
力してご登録ください。

※QR コードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

AI が他者との関わりを変える？

AI とは人工知能(Artificial Intelligence(アーティフィシャル インテリジェンス))の略称です。コンピューターの性能が大きく向上したことにより、機械であるコンピューターが「学ぶ」ことができるようになりました。これが現在の AI の中心技術、機械学習です。この技術により、さまざまなセンサーで画像・テキスト・音などの情報を受け取り、処理することで、翻訳や自動運転、医療画像診断や囲碁、将棋といった人間の知的活動に、大きな役割を担いつつあります。

一方、人間らしい AI として、時々失敗をする、風変わりな反応をする AI の研究も進んでいるそうです。その中に、代表的なゲーム理論の「囚人のジレンマ」をテーマにしたものがあります。これは2人の囚人がある条件を与えられ、双方が協力し合って黙秘すると刑は軽くなるが、個々が自分の刑を軽くしようとして自白を選ぶことで逆に刑が重くなってしまうという矛盾が生じることから、さまざまな条件や過程における行動選択を調べて、AI に人間らしさを付与しようと研究しているそうです。

私たちは、社会のさまざまな局面において選択を迫られます。その時に「こうすればいいとわかっているけど、そうすることができない」という自己矛盾、すなわちジレンマを感じますが、これと同じようなテーマが最先端技術の研究になっているのが興味深いです。

さて、研究では、ジレンマの解決には、諸条件はあるものの、協力行動が必要であることが多くの研究で明らかになっています。そうすると、生成 AI の会話が楽しくて「人間の友達はいらない」というようなことになっても、何かのときには協力行動をどのように実践するのかを考えておくことを忘れてはならないのかもしれません。

インターネットやSNSの普及でコミュニケーションスタイルが大きく変わった今、直接の会話が少なくなると同時に言葉の機微やニュアンスも伝わりにくくなってきています。そんな中にあっても、そしてどんなにAIが発展しようとも、難しい選択を迫られたときの命綱として、協力行動を可能にする他者との関わりを忘れずにいたいものです。

【参考文献】

- ・北梶 陽子・曽根 美幸・佐藤 浩輔・小林 翼・大沼 進 (2016) 「囚人のジレンマゲームにおいて他者について考えることが協力率に与える影響」『社会心理学研究』32 (2) pp.115-122
- ・日本経済新聞「東大、囚人のジレンマゲームで搾取が発生する仕組みを解明」2019 年 11 月 6 日
- ・文部科学省「AI ってなに? <https://www.mext.go.jp/kids/find/kagaku/mext_0008.html>

カウンセラーのオアシス

パッチワークに夢中です

今年の夏はクーラーをつけて室内で過ごす時間が長くなりがちでした。部屋の中、ふと目に入ったのが、片隅にしまい込んでいた中途半端な大きさの布たち。あれを作ろうという目的もなく、布を適当に切って、チクチクと縫いつないでいます。ときどき、手をとめて「おっ、大きくなった！ いい感じ」と自画自賛ながら、何も考えずに、どんどん縫いつなげています。どこまで大きくできるか実験中。

EAP用語集

ラポール

フランス語で「架け橋」という意味を持つ。心理学では、信頼関係を構築する方法を意味し、相手との信頼関係を築くことで、心と心が通い合って和やかな関係になり、親密になれる。ラポールは対人活動全般において重要であり、ラポールを形成するメリットは、信頼関係の構築による円滑なコミュニケーション、生産性の向上など数多くある。